

安全データシート

(Safety Data Sheet)

作成日：2017 年 5 月 25 日

改訂日：2026 年 8 月 20 日

1. 化学物質等及び会社情報

化学品の名称	ネオデカン酸
化学品の名称（英語）	Neodecanoic Acid
会社名（輸入元）	アーク株式会社
住所	大阪府中央区安土町 3-5-13
電話番号	06-6563-7710
緊急連絡電話番号	06-6563-7710
FAX 番号	06-6563-7720
推奨用途及び使用上の制限	ペンキ乾燥材、可塑剤、潤滑油添加物

2. 危険有害性の要約

GHS 分類：JIS Z 7252：2025 及び JIS Z 7253：2025

物理化学的危険性	引火性液体	分類できない
	自然発火性液体	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	分類できない
	急性毒性（経皮）	分類できない
	皮膚腐食性・刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性	分類できない
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性（短期・長期）	分類できない

絵表示	なし（いずれの区分についても分類できないため）
注意喚起語	なし
危険有害性情報	設定されている情報なし
注意書き（安全対策・応急措置・保管・廃棄）	設定されている情報なし

その他の有害性（参考情報）：

人の健康に対する有害性	眼、呼吸器系及び皮膚を刺激することがある。飲み込むと有害のおそれ。 皮膚に繰り返し触れると湿疹を生じることがある。眼に入れると一時的な痛みを生じ、障害を生じることがある。
-------------	--

3. 組成及び成分情報

化学名又は一般名	NEODECANOIC ACID
別名	ネオデカン酸
分子式	C10H20O2
CAS 番号	26896-20-8
官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	(2)-608
濃度又は濃度範囲	100%

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	水と石鹼で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 気分が悪い時は医師に連絡すること。
想定される主な症状及び影響	吸入：データなし 皮膚：発赤、痛み 眼：データなし 経口摂取：データなし
応急措置をする者の保護	データなし
医師に対する特別な注意事項	データなし

5. 火災時の措置

消火剤	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
使ってはならない消火剤	データなし
特有の危険有害性	加熱されると分解して、腐食性及び／又は毒性の煙霧を発生するおそれがある。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 安全に対処できるならば着火源を除去すること。

消火を行う者の保護	適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。
-----------	-------------------------

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 密閉された場所に立ち入る前に換気する。 全ての着火源を取り除く。
環境に対する注意事項	環境中に放出してはならない。
封じ込め及び浄化の方法・機材	漏洩物を集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。 プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	特別に技術的対策は必要としない。
	局所排気・全体換気	全体換気を行う。
	安全取扱い注意事項	取扱い後は手をよく洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 適切な保護眼鏡、保護面を着用すること。 粉じん、ヒューム、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
	接触回避	データなし
保管	技術的対策	特別に技術的対策は必要としない。
	保管条件	施錠して保管すること。 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 (日本産業衛生学会)	設定されていない（2025 年度版で確認）
ばく露限界値 (ACGIH TLV)	設定されていない（2025 年版で確認）
濃度基準値（労働安全衛生規則第 577 条の 2 第 2 項）	設定されていない（本物質はリスクアセスメント対象物質に該当しないため対象外）
設備対策	屋内作業の場合は、作業者が直接ばく露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者がばく露から避けられるような設備にする。 作業場所に、緊急時のシャワー及び洗眼の装置を取り付け、その位置を明瞭に表示する。

呼吸器の保護具	マスクを着用する。
手の保護具	有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
眼の保護具	保護メガネを着用する。
皮膚及び身体の保護具	必要がある場合には着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	形状	液体
	色	Water White
	臭い	あり

融点・凝固点	<-30℃
沸点	270-280℃
引火点	129℃
蒸気圧	<3KPa at 20℃
比重（密度）	910kg/ms at 20℃

10. 安定性及び反応性

反応性	データなし
化学的安定性	法規制に従った保管及び取扱いにおいては安定と考えられる。
危険有害反応の可能性	データなし
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	加熱により分解し、腐食性及び／又は毒性の煙霧を生じるおそれがある（第5項参照）。

11. 有害性情報

急性毒性	経口	ラット LD50 値：2,066mg/kg
	経皮	ラット LD50 値：3,640mg/kg
	吸入	データなし

皮膚腐食性・刺激性	データなし（GHS 分類：分類できない）
眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性	データなし（GHS 分類：分類できない）
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし

生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	データなし
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	データなし
吸引性呼吸器有害性	データなし (GHS 分類：分類できない)

12. 環境影響情報

生態毒性	水生環境有害性 短期 (急性)	データなし。 (GHS 分類：分類できない)
	水生環境有害性 長期 (慢性)	データなし。 (GHS 分類：分類できない)

残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。 (GHS 分類：分類できない)

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装	データなし

14. 輸送上の注意

該当の有無は製品によっても異なる場合がある。法規に則った試験の情報に基づく確認が必要である。

国連番号	特定できず
国連輸送名	データなし
輸送における危険性クラス	データなし
容器等級	データなし
海洋汚染物質	データなし

国際規制	海上規制情報	特定できず
	航空規制情報	特定できず
国内規制	陸上規制情報	規定なし。
	海上規制情報	特定できず
	航空規制情報	特定できず

15. 適用法令

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）	既存化学物質（一般化学物質）。官報公示整理番号(2)-608。
労働安全衛生法	非該当
化管法（PRTR 法）	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	第 4 類 第 3 石油類（非水溶性） 危険等級Ⅲ 指定数量 2,000L

16. その他の情報

改訂履歴	作成日：2017 年 5 月 25 日 改訂日：2026 年 8 月 20 日（JIS Z 7252：2025 及び JIS Z 7253：2025〔GHS 第 9 版〕準拠に更新）
------	--

免責事項	本安全データシート（SDS）に記載した内容は、現時点で入手可能な資料及び情報に基づいて作成したものであり、記載内容の完全性及び正確性を保証するものではありません。また、本 SDS は今後、新たな知見や法令改正等により、予告なく内容を変更することがあります。 お取引先各位におかれましては、本 SDS の情報を、当該製品を安全に取扱うための参考情報としてご利用いただき、実際の取扱いにあたっては、自らの用途・使用条件・作業環境等に応じて必要な安全対策を講じるとともに、関連法令を遵守していただきますようお願いいたします。 本 SDS は製品の品質を保証するものではなく、本 SDS の記載内容に関連して生じた損害について、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
------	---